

2022年3月期 第1四半期 連結決算（補足説明資料）

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

<サマリー>

■ 前年同期比、増収増益。第1四半期は順調な滑り出し。

◇ 収益	1,756 億円	23.3% 増収
◇ 営業活動に係る利益	50 億円	49.0% 増益
◇ 税引前四半期利益	53 億円	54.6% 増益
◇ 親会社所有者帰属四半期利益	33 億円	37.9% 増益

■ 当期利益(親会社所有者帰属)進捗率は約22%。

1. 損益の状況

(単位：億円)	2021/3月期	2022/3月期	前年同期比		2022/3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	1,424	1,756	332	23.3%	7,000	25.1%
売上総利益	214	248	33	15.6%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 186	△ 206	△ 19	-	-	-
その他の収益・費用	6	8	3	48.9%	-	-
営業活動に係る利益	34	50	17	49.0%	280	18.0%
利息収支	△ 5	△ 4	1	-	-	-
受取配当金	4	4	0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 1	△ 0	0	-	-	-
金融収益・費用	△ 2	△ 0	1	-	-	-
持分法による投資損益	2	3	1	33.5%	-	-
税引前四半期利益	34	53	19	54.6%	280	18.9%
法人所得税費用	△ 9	△ 15	△ 6	-	-	-
四半期利益	25	38	12	49.2%	-	-
親会社所有者帰属四半期利益	24	33	9	37.9%	150	21.7%
1株当たり四半期利益 (円)	28.25	38.96	10.71	37.9%	179.62	21.7%

【収益】

すべてのセグメントにおいて前期比増加し、332億円の増収。

【営業活動に係る利益】

食料セグメント、鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、17億円の増益。

【税引前四半期利益】

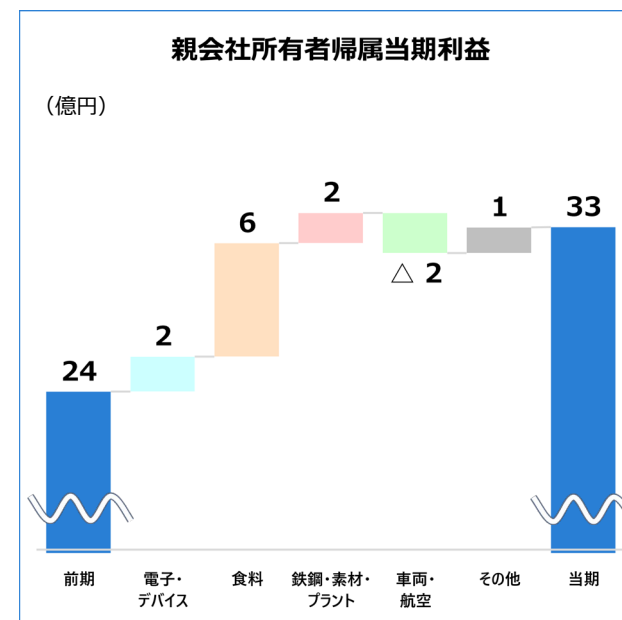
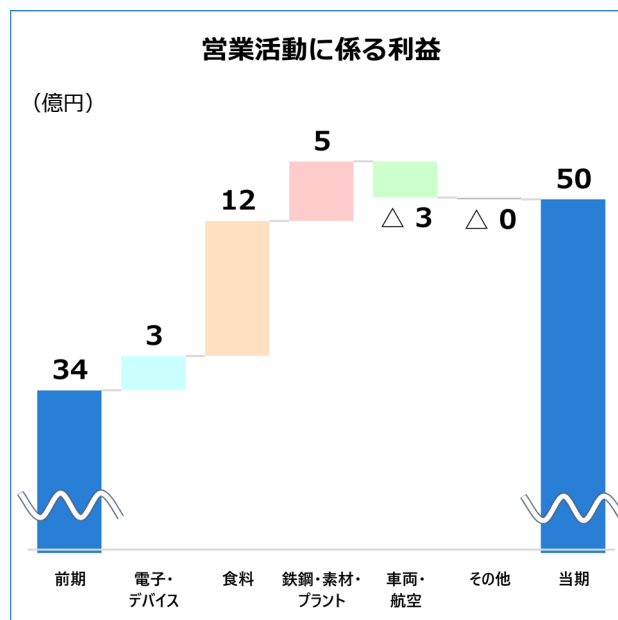
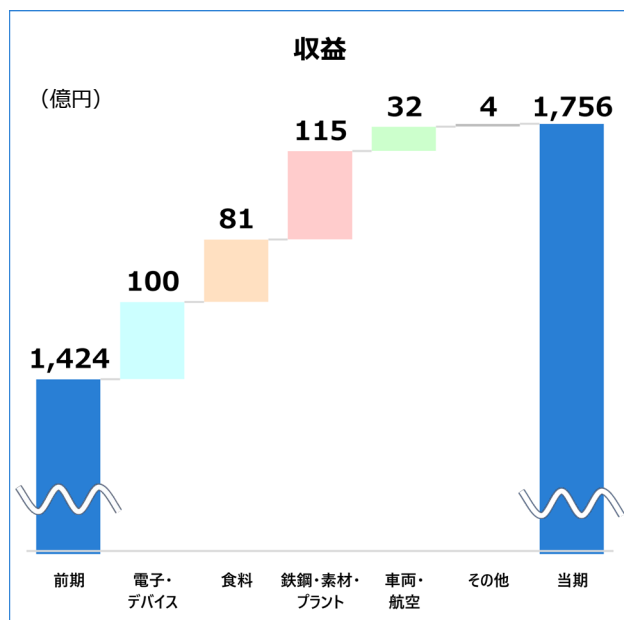
営業活動に係る利益の増加などにより、19億円の増益。

【親会社所有者帰属四半期利益】

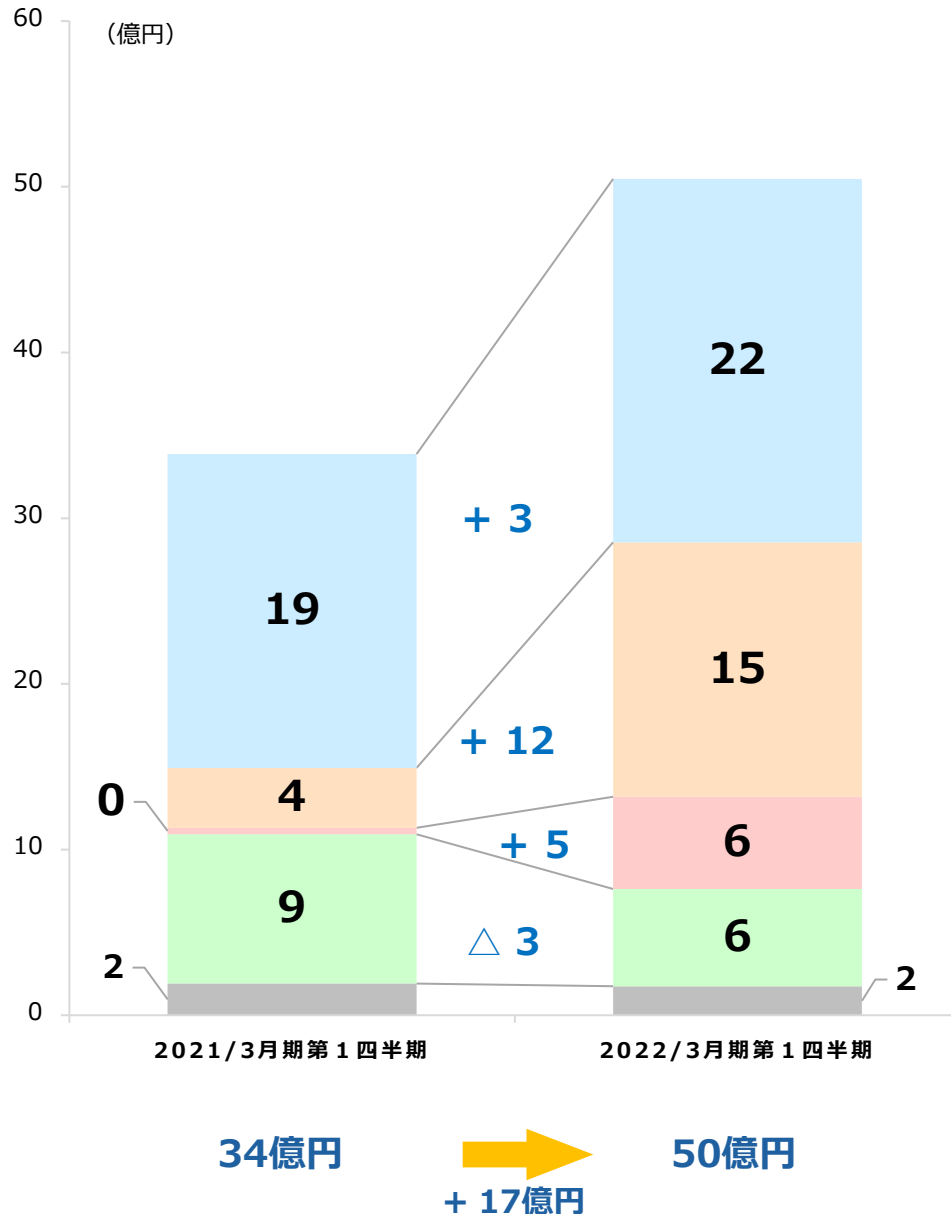
税引前四半期利益の増加に伴い、9億円の増益。

2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期	
				見通し	進捗率				見通し	進捗率				見通し	進捗率
電子・デバイス	437	538	100	2,500	22%	19	22	3	192	11%	10	11	2	90	13%
食料	619	701	81	2,600	27%	4	15	12	35	44%	4	11	6	23	46%
鉄鋼・素材・プラント	205	319	115	1,100	29%	0	6	5	31	18%	3	4	2	25	17%
車両・航空	136	168	32	700	24%	9	6	△3	14	42%	6	3	△2	9	39%
報告セグメント合計	1,398	1,726	328	6,900	25%	32	49	17	272	18%	22	30	8	147	20%
その他(含む調整額)	26	30	4	100	30%	2	2	△0	8	22%	1	3	1	3	89%
総合計	1,424	1,756	332	7,000	25%	34	50	17	280	18%	24	33	9	150	22%



3. 営業活動に係る利益 <セグメント別増減>



前期比増減要因

【電子・デバイス】

3 億円 増益

半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を受けて半導体・液晶パネル関連の製造装置・消耗品の出荷が伸長し順調に推移。ICTソリューション事業は、セキュリティ関連やネットワーク関連の案件の増加などもあり堅調に推移。モバイル事業は、ショップへの来店者数は戻りつつあるものの緊急事態宣言などの影響もあり微増。

【食料】

12 億円 増益

畜産事業は、需要の回復に加え、畜産物全般の価格が大きく上昇し、外食関連販売で苦戦した昨年からの反動により増益。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。食糧事業は、穀物・飼料価格上昇のもと堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】

5 億円 増益

工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた前年同期の事業環境から回復し堅調に推移。鋼管事業は、エネルギー需要の底打ちを受けて回復基調。一方、エネルギー事業は、今後のデリバリーで回復が見込まれるものの一時的に減益。

【車両・航空】

3 億円 減益

航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあたり低調に推移。一方、車両・車載部品事業は、取引先の生産が回復したことで車載部品取引が順調に推移。

4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	26	△ 53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18	△ 42	△ 24
フリーキャッシュ・フロー	60	△ 17	△ 77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100	△ 5	95

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	19	21	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19	△ 21	△ 2

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどにより、26億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得や事業譲受などの事業投資の実行により、42億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加による収入があった一方、配当金の支払いやリース負債の返済などにより、5億円のキャッシュ・アウト。

(単位：億円)	2021/3末	2021/6末	増減
総資産	5,575	5,502	△ 73
グロス有利子負債 (注1)	1,222	1,274	53
ネット有利子負債	405	478	73
自己資本 (注2)	1,439	1,438	△ 1
内、利益剰余金	781	790	9
内、その他の資本の構成要素合計	124	113	△ 10

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

【総資産】

営業債権およびその他の債権の減少などにより、73億円の減少。

【有利子負債】

短期借入金の増加などにより、73億円の増加。

【自己資本】

親会社所有者帰属四半期利益の積上げの一方、配当金の支払いや株価の下落に伴う評価額の減少などでほぼ横ばい。

自己資本比率は26.1%、ネットDERは0.3倍。

自己資本比率 (注3)	25.8%	26.1%	0.3%上昇
ネットDER (注4)	0.3倍	0.3倍	横ばい

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

5. 株主還元・資本効率

【配当】

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期(予想)
年間配当額/株 (円)	48	60	60	60	60
連結配当性向	24.8%	30.3%	34.8%	37.6%	33.4%

【当期利益・ROE・ROIC】

